〔科目名〕		〔単位数〕	[科目区分]
経済導入演習		2 単位	専門科目
〔担当者〕	〔オフィス・アワー〕		〔授業の方法〕
青山直人、樺克裕、巽一樹、	各教員より別途指示があります。		講義•演習
七宮圭、橋本悟(五十音順)			

[科目の概要]

1年次の春学期に「経済学基礎論」で経済学の入門的基礎固めが終了したみなさんは、これから経済学のさまざまな専門科目を学んでいくことになります。経済学が取り扱う問題はきわめて多岐にわたっており、その内容も高度です。したがって、将来どのような方向を目指して学習を進めていくのかをある程度見定めておかないと、大海原の中を無駄に漂流する如くになる恐れがあります。本演習は、目前にどのような世界が広がっているかを少しでも垣間見てもらうために準備されています。言い換えれば、本演習は経済学科の専門科目群を学んでいくための動機付けの役割を担っています。

さまざまな専門分野を持つ5人の担当者が、それぞれの専門分野に関連するトピックで演習を行うことにより、学生諸君の知的好奇心をできるだけ高めることを目的にしています。各担当者は3回の演習を担当し、ローテーションをすることによって合計で3回×5人=15回の演習が行われます。なお、担当者の担当順序はクラスによって異なります。

[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか]

経済導入演習は、各教員の専門分野の入門編として授業が展開されます。内容は、2年生以降の専門科目と関連するものも多いので、今後の各自の履修モデルの構築(授業科目の選択)に多いに役立つはずです。

また、2年生秋学期以降は、経済演習が始まります。経済演習では、各教員の専門分野を基に、学生が演習の所属を 自ら決めていきます。その決定の際に、経済導入演習の授業内容は参考になることが多いと思います。

〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕

経済導入演習で展開される各教員の専門分野の入門編の授業を通じて、2年生以降、学生が主体的に履修モデルを 決定し、経済演習 I の所属決定に際して、ゼミの内容について理解した上で、自発的に決定できるようになることがこの 科目の目的です。

[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫]

「マイクの音量」に注意します。

〔教科書〕

各教員より指示があります。

[指定図書]

各教員より指示があります。

[参考書]

各教員より指示があります。

[前提科目]

特にありません。

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

各教員が3クラス統一の基準で評価します。

教員毎の評価を合算して、全体の評価とします。

〔評価の基準及びスケール〕

評 価 得点比率

A $80\% \sim 100\%$

B 70% ∼ 80%未満

C 60% ∼ 70%未満

D 50% ~ 60%未満

F 50%未満

担当教員:青山直人

〔テーマ〕 環境経済学入門

[オフィス・アワー] 初回の授業で連絡します。

〔演習概要〕

私たちが直面している環境問題は、汚染問題から廃棄物問題、気候変動問題、生物多様性の劣化など多様な領域にわたり、空間的スケールにおいては地域的規模の問題から国際的規模、地球的規模の問題まで広域化し、深刻化しています。この多様で重層な環境問題を解決するためには、環境問題の発生原因とメカニズム、環境政策の基礎理論、環境の価値評価について考える必要があります。本演習では、環境問題の発生原因とメカニズムに関する基礎理論を紹介します。

[学修の課題、評価の方法](テスト、レポート等)

授業内の小テスト(もしくは、課題)で評価します。詳細は授業内で連絡します。

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

経済学的な考え方をもとに環境問題へアプローチします。本演習を通じて、 環境問題に対する興味や関心を高めてほしいと思います。

[実務経歴]

該当なし

[教科書]

なし。配布資料。

[その他]

担当教員: 樺 克裕

[テーマ]財政学入門

政府の経済活動である財政について、基本から説明します。

[オフィス・アワー]

授業中にお知らせします。

〔演習概要〕

政府の経済活動である財政は、経済活動の中で、非常に大きな役割を担っています。この演習では、財政の基本的な仕組みである租税、予算、国債や地方財政の概要等について説明し、テーマに沿って出題する例題を考えることで財政に対する理解を深めて貰います。

[学修の課題、評価の方法](テスト、レポート等)

各回の例題の応用問題をレポート課題とし、それにより評価します。詳細は3回目の授業中に説明します。

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

この授業は、科目の概要にもあります通り、今後の履修モデルや2年生秋学期から始まる経済演習「の選択に関して、概要を示す役割を担っています。 私の演習を通じて、現在の経済学的な(特に財政学的な)課題について解説しますので、学生の皆さんには、経済学の理論だけでなく、幅広く社会に関心を持って頂ければと思います。

[実務経歴]

各教員の実務経験を活かし、具体的な経済活動の場を見学し、現実感を持って経済活動を理解したり分析したりすることに興味を持ち、経済学への学習意欲を高めることを目的とした授業です。

[教科書]

ありません。授業は配布するレジュメに沿って進行します。

[その他]

担当教員: 巽 一樹

[テーマ] 総需要と総供給

[オフィス・アワー]

講義前後

[演習概要]

本演習の目的は、経済の短期的変動について理解することにある。経済活動は景気拡張と景気後退を経て変動する。日本では、高度成長期のもとで景気拡張を実現した一方で、バブル崩壊、リーマンショックによって、不況を経験した時期がある。本演習では、総需要と総供給のモデルを使い、GDPや一般物価水準が変動する原因について検討し、政府や中央銀行はどのような政策を立案するべきか考察する。

[学修の課題、評価の方法] (テスト、レポート等)

各回におけるeラーニングの達成度(7点 \times 3回=21点)及び最終レポート9点の合計 30点満点で評価する。

[教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望]

教科書の知識を鵜呑みにせず、疑問点があれば、積極的に質問いただきたい。

[実務経歴]

該当なし。

[教科書] N.G.マンキュー著、足立英之他訳『マンキュー入門経済学 第 3 版』東洋経済新報社、2019年。 ※「経済学基礎論」で購入済み。

[その他]

担当教員:七宮 圭

[テーマ] 経済学のための確率入門

[オフィス・アワー]

509 研究室。曜日・時間は研究室前に掲示します。

〔演習概要〕

統計学やファイナンスなどの経済学の科目で必要となる確率の基礎知識に ついて講義します。

[学修の課題、評価の方法](テスト、レポート等)

各授業終了前に実施する確認テスト。 病気等により欠席した場合は、欠席届を提出してください。

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

確率の考え方と計算の仕方を中心に講義をします。

[実務経歴]

なし。

〔教科書〕

なし。毎回、資料を配布します。

[その他]

なし。

担当教員: 橋本 悟

[テーマ]公益事業を知る

[オフィス・アワー]

月曜日2時限(10時30分から12時30分)

[演習概要]

公益事業は、電気・ガス・水道・郵便・通信・放送などのインフラ産業と鉄道・航空・バス・タクシーなどの交通産業がある。本講義では、これらの産業のいくつかをピックアップして、その産業の概要等について解説する。

[学修の課題、評価の方法](テスト、レポート等)

最初の授業(1回目)でレポート課題を出す。原則として、最終回の授業(3回目)の際にその課題を提出する。

[教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望]

政府の規制の重要性と近年の規制緩和に重点を置いて解説をする予定である。興味を持って授業を受けてほしい。

[実務経歴]

なし

〔教科書〕

なし

[その他]

特になし